

公表

事業所における自己評価結果

公表：令和 7年 3月 31日

事業所名 児童デイサービス 太陽上尾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令順守したスペースを確保しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で定められている配置数を確保しています	
	3	生活空間はこどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差をなくしています 玄関入り口に段差があるがトラテープを張って注意を促している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日室内の換気を心掛けて室内温度も調整している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋やクールダウンの部屋等使用することが認められる環境になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		参画している。	
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価表を検討し改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月例会等で職員からの意見を引き出して、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部・外部研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎日支援プログラムを変えて連絡ノートに記載しています。	
	12	個々の子供に対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		自王発達支援計画の作成に当たっては、日頃保護者の意見などを取り入れながら作成し同意を得ている。	

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか。	○		月例会等で職員からの意見を引き出して話し合いを設けてから作成している。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。沿った支援が行われている	○		会合やミーティングで振り返り目標に沿った支援ができるように行っている。	
15	子供の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎日、プログラムに沿って分析結果票を作成し、確認しています。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子供の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域をその子供の支援に沿って目標を立て、さらに具体的支援内容を記載しています。	
17	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか。	○		活動プログラムに沿ってチームで連携して行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日活動プログラムを変更考案しています。	
19	子供の支援に状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成して、支援しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に必ず打ち合わせを行い、役割分担等各自確認してから連携プレーで支援しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には、必ずミーティングを行い、カンファレンス等話し合っている。	
22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録をとり支援の検証・改善につなげています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切な計画を立てることを心がけながら行っている。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。		○		自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供この4つの基本活動を組み合わせた支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援をおこなっているか。	○		自発的に行うプログラムを子供たちに取り組めるように工夫しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		関係機関等の連絡を密に深めています。
	27	地域の保健・医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		協力医療機関等の連携を密にしています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		トラブル発生時には、連絡調整等迅速に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		保育園等、卒園しても情報共有や相互理解等つとめています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要な情報は提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			更に研修等増やしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子供と活動する機会があるか。		○		必要とされる場合は、検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加できる時には、参加しています。	
	34	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・送迎時に情報共有をおこなっています。	
	35	家族対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修機会や情報提供等を行っているか。		○		家族等の参加できる研修や情報提供をもっと増やしています。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明しています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		同意を得ています。	
	39	家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		迅速に適切な助言等行っていけるように心掛けて支援しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		必要とされれば、今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速にかつ適切を心がけて対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		太陽だより(月刊)での活動内容や行事等、子供たちの写真を添付しながら配布しています。	HPやSNS等、充実させていき、行事予定などの情報も発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		充分留意しています。	
	44	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		出来る限り配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		検討中です。
非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防止マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		すべてのマニュアルは策定しており、発生を想定した訓練等は年に2回児童や職員を交えて行っています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練をお混っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		指示書に沿って対応可能です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、訓練や研修等、出来る限り行い、また、安全管理を常に心がけながら職員一同行動しています。	

の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。		○		密に行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハットを共有し、月例会で振り返り対処法を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修等で学んだことを基本に、虐待防止に対する適切な対応を心がけながら対処している。	
	54	どのような場合にやむおえず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむ負えない場合を想定して迅速に保護者間と話し合いをして了解を得、記録をとり計画書に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 7年 3月 31日

事業所名 児童デイサービス 太陽桶川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令順守したスペースを確保しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で定められている配置数を確保しています	
	3	生活空間はこどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関入り口等バリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日室内の換気を心掛けて室温も調整している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンの部屋等認められる環境になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティング、職員全員参加の月例会等で振り返りや目標設定しています。	
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価表を検討し改善につなげています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月例会や毎日のミーティングで行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部・外部研修を行っている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎日、活動記録を作成して連絡ノートに反映して報告しています。	
	12	個々の子供に対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを適切に行うことを心がけながら分析結果層を基に作成している。	

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか。	○		作成する前に事前に職員との検討会を行っている。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。沿った支援が行われている	○		計画に沿えるように支援している。	
15	子供の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		色々な角度から分析しながら確認しています。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子供の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域をそれぞれ支援内容に取り入れて移行支援・地域支援も含めて設定しています。	
17	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか。	○		活動プログラムはあらかじめ当日の担当者が立案しそれを基にチームで連携して行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		工夫することを心がけている。	
19	子供の支援に状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団活動を状況に応じて行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを支援前で行い役割分担等を決めてチームで連携して行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後必ずミーティングで振り返りを行っている。	
22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々記録を取り支援の検証・改善につなげている。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		月例会等、モニタリングを行い適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を心がけながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援をおこなっているか。	○		製作や他の支援で選択するものを考えてプログラムを作成、自立支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		よく理解しているものが参画している。	
	27	地域の保健・医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		協力医療機関等の連携を密にしています
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		子供の引き渡し時担任の先生と状況報告や行事等の話など適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今後検討していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		必要とされる場合は情報提供します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後検討していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子供と活動する機会があるか。		○		必要であれば、検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今後参加できるようにしていきます。
	34	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・送迎時に情報共有をおこなっています	
	35	家族対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修機会や情報提供等を行っているか。		○		更なる情報提供など密に保護者と関連性を深めていけるように、努力していきます。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約提携時に説明しています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成する前、以後に再度ご家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		面談時、契約時等同意を得ています。	
	39	家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		迅速に適切な助言を心がけながら行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後検討していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切な対応を心がけながら行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		個人情報の保護に配慮しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		充分留意しています。	
	44	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		必要であれば、検討していきます。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防止マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練等定期的に実施している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者から情報を得て確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		医師診断書に沿って対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		常に安全管理を怠らずに支援を行っています。	

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画に基づく取り組み内容をもっと密に行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		毎月検討会を開いて対応策を考案しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修・内部研修取り組み内容を適切に行っています。	
	54	どのような場合にやむおえず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		組織的に決定した場合、保護者に了解を得た上で計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。